

統計アラカルト

熊本の統計情報 令和6年8月29日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

「景気」って、な～に？ ～経済指標の基礎知識～



みなさんは、「景気」って何のことかわかりますか？

よく「景気がいい、悪い」と言いますが、目に見えないので、実態がわかりにくいですね。

では、どうやってそれをつかむのでしょうか？

ニュースでは、毎日、「為替の値動き」、「日経平均株価」、「東証株価指数」等の経済の状況を表す数値が報道されています。最近では、8月初めに為替の値動きが急に円高方向に振れ、東京株式市場の日経平均株価が記録的な乱高下をしたことが話題になりました。

これらの数値も景気をつかむ手段の一つです。

そこで、今回は、経済の動きを客観的に判断するための指標について、県内のデータも取り上げながら、基本的な知識をご紹介します。

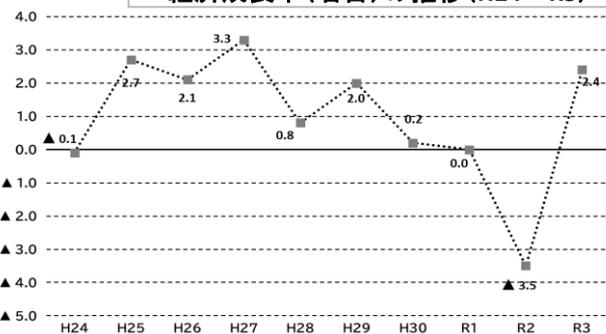
<経済指標の代表的な例>

【経済の状況を総合的に示す重要な指標】

◎ GDP (国内総生産) (四半期ごと公表)

内閣府が生産・分配・支出の三面から一定期間に国内で生産される付加価値の合計額を推計。GDPの伸び率を経済成長率と呼びます。

経済成長率(名目)の推移(H24～R3)



【速報性から注目される指標】

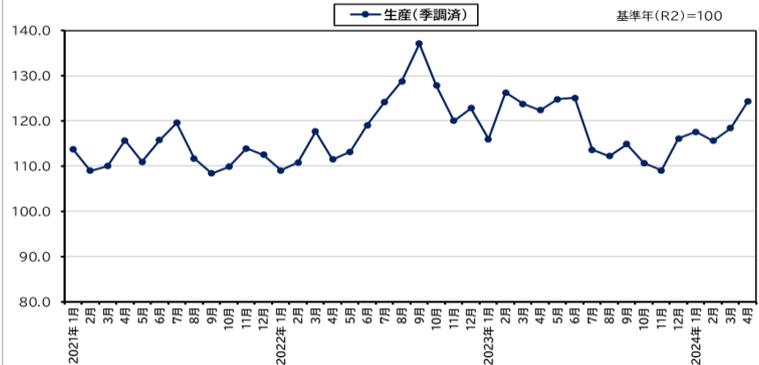
◎ 日銀金融経済概観 (全国・各県)

日銀金融経済概観(毎月公表)は、個人消費、観光、生産等の観点から、国内や県内の金融経済の概況を述べたもので、資料的に価値の高い指標の一つ。

◎ 鉱工業指数 (全国・各県)

鉱業・製造業の動向を指数化した指標(毎月公表)。鉱工業が経済活動に占める割合が大きいため、景気変動を反映しやすく注目度が高い。

熊本県鉱工業指数(季節調整済)



指標によって特徴が違って、
いろんな側面から景気をとらえられるんだね！

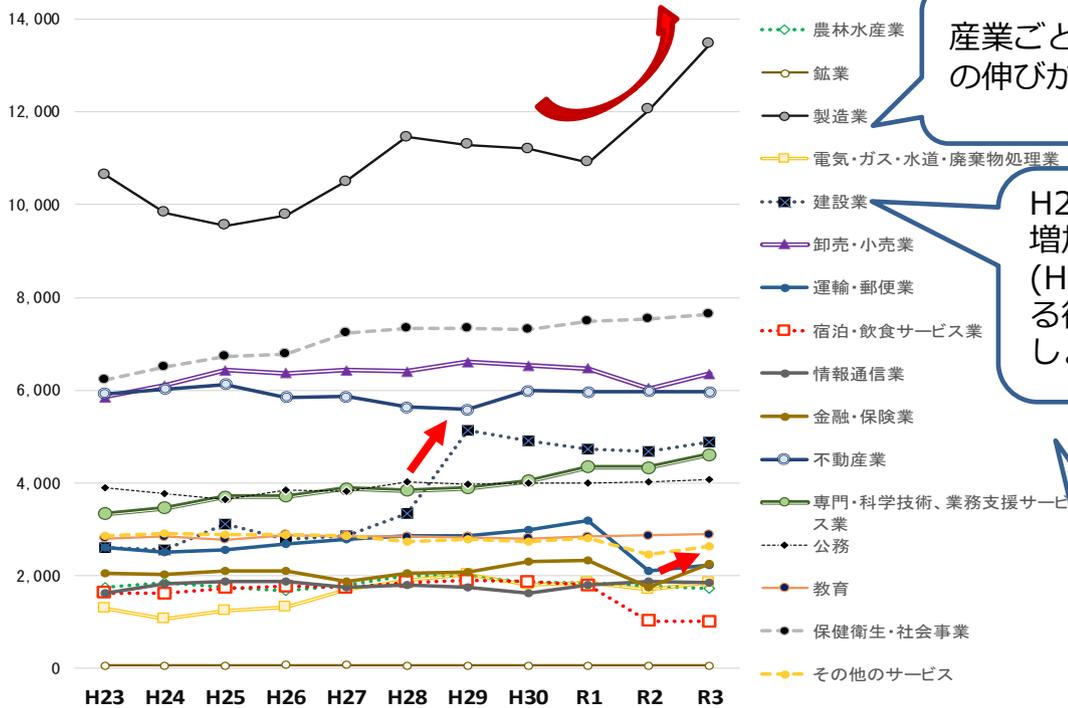


「熊本県の経済情勢」(熊本県統計調査課作成・毎月公表)では、県内の経済指標について、「消費・物価」、「投資」、「生産・企業倒産」、「貿易」、「観光」、「雇用」、「金融」及び「その他」の分野において、各2～3個の指標をとりまとめ、「最新データ」と「長期のグラフ」を掲載しています。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/20/157610.html>



Q GDP（国内総生産）の県版「熊本県県民経済計算」からどんなことがわかるでしょうか？



産業ごとの総生産額は、製造業の伸びが目立ちますね！

H29に建設業が大きく増加していますね！（H28熊本地震の影響による復興需要の高まりでしょうか。）

R3に金融・保険業が増加していますね！（R2豪雨災害の影響で、保険料の出し入れが生じたことが影響しているようです。）

なお、今回は紙面の都合で取り上げていませんが、「市町村民経済計算」では、**市町村ごとの傾向**を把握できます。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/20/87038.html>



データを手がかりに、事柄の状態を読み取る力を鍛えることは、情報があふれる現在の世の中で、**客観的材料に基づいて物事を推測・判断していく力を養う**ことにつながります！

熊本県統計調査課では、今回ご紹介した熊本県の経済状況を把握する指標＝鉱工業指数、県民・市町村民経済計算等の加工統計を作っているほか、統計データを活用するための研修も行っています。

小学生高学年向けには統計グラフ出前授業、県・市町村の行政職員向けにはデータハンドリング研修、EBPM（客観的データに基づく政策立案）研修を実施しています。

お申し込み方法など、ご興味がある方は、下記お問い合わせ先までお尋ねください。



問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp